

「働いて楽しむ」、生き甲斐のある人生を送るために ～ 自閉症の息子と共に～

講師 / 明石洋子氏・明石徹之氏

今川崎市の公務員として働く、知的発達障害の重い自閉症の明石徹之さんと、お母さんが、NHKテレビで紹介され、大きな反響を巻き起こしました。「溢れる笑顔はどこから?」「どんな子育てをしたの?」「その答えを話していただきます。」「お仕事がんばります」と中学時代から「働いて楽しむ」を目標にしてこられた徹之さん。「彼の幸せになる道は地域の中にきつとある」と信じて育てた洋子さん。皆の心にパワーが溢れてきます。



とき 2月12日(日)午前10:00～12:30 (9:30開場)

ところ 北見市芸術文化ホール(きた・アート21) 中ホール

北見市泉町1丁目2-22 電話0157-31-0909

会費 一般の方 1,000円 (懇話会会員は500円)

問い合わせ 懇話会事務局 市野 / TEL(0157)52-3850(置戸小学校)

FAX(0157)52-3856(置戸小学校)

申し込みは不要です。当日直接会場にお越し下さい。

主催 / オホーツクADHD&LD懇話会

後援 / オホーツク情緒障害教育研究会・北見市特別支援教育研究会

北見市手をつなぐ育成会

網走圏域障がい者総合相談支援センター「くらしネットオホーツク」

プログラム

- 9 : 3 0 開場 (ビデオの紹介)
10 : 0 0 主催者あいさつ
10 : 0 5 明石徹之氏 講演
10 : 2 0 明石洋子氏 講演
12 : 3 0 終了

講師紹介

明石洋子氏 (1946年生まれ 九州大学
薬学部薬学科卒 薬剤師)

現職 社会福祉法人あおぞら共生会 副理事長。
地域作業所(2ヶ所)・グループホーム(4ヶ所)・サポートセンター等設立運営。全日本手をつなぐ育成会 評議員。全国障害者生活支援研究会(サポート研)理事。精神障害者権利擁護NPO「くれよんらいふ」理事。等々
本業は(株)スズケン 管理薬剤師

略歴

知的障害を持つ自閉症の長男の成長に合わせて、地域訓練会(親の自主訓練会)・保育園・義務教育(普通級)・高校進学へ、そして放課後は学童保育・学齢児活動、更に「アイススケート日曜学級」「夏休み水泳教室」等余暇活動を企画運営して、同年齢児や地域の人々と少しでも多く接する場と機会をつくり、働く場も地域でと、心のバリアフリーと、ノーマライゼーション実現のための市民活動を、30年続ける。

「社会に自立」を子育ての方針にし、親亡き後の不安感は、「日中活動の場・暮らしの場・24時間365日必要な時のサポート体制」この三点セットが地域の中にあり、気軽に使えられれば解消すると考え、地域作業所(街の中のお店やさん)・グループホーム(4ヶ所)・地域生活支援センター(NPO法人から社会福祉法人に)を設立し運営している。

地域作業所もお店として地域と交流しながら「地域への就労拠点」と位置付けし、地域のお店や企業更に公務員への就労の道を開く(現在も地域の企業等9箇所に働く場を)。

明石徹之氏は、定時制高校卒業後、1991年7月から川崎市の公務員として働いている。2004年から健康福祉局『長寿荘』に勤務。

- ・NHK総合TV「笑顔で街に暮らす」(25分)
 - ・NHK - BS「お仕事がんばります」(50分)
 - ・韓国KBS「走って世の中に」(60分)
- 等のドキュメント番組放送出演。
・NHK「生活ほっとモーニング」生出演(50分)。 日本・アメリカ・韓国で講演多数。

著書 (ぶどう社刊) 紹介

『ありのままの子育て』

超多動の徹之に振り回されながら、どう育てていいかわからず涙にくれていた時代から、地域に飛び出して行って、地域を耕しながら仲間や支援者を見つけていった過程を書きました。

『自立への子育て』

家庭で、日々の生活の中で、ことば・トイレ・偏食・こだわり・お手伝い・お金など、生活に必要なさまざまな力を、どうやって育てたか、どうやってつけたかを、その教え方の知恵や工夫を細かく具体的に書きました。

『お仕事がんばります』

中学時代から「働いて楽しむ」を目標に、定時制高校では楽しい高校生活を送りながら、作業所や街のお店で働く体験をし、卒業後は公務員試験を突破して、川崎市職員として働いています。その歩みをていねいに書きました。